

～平成25年度第2回コア会議が開催されました～



平成26年3月27日(木)に「公園マネジメント会議 平成25年度第2回コア会議」が「愛・地球博記念公園 地球市民交流センター」にて開催されました。17名の会員の方が出席され、今年度の公園マネジメント会議の評価における「評価指標」や「目標値」の設定について決議が行われました。

全体討議では、次年度以降の「コア会議」や「分科会」のあり方について議論し、「コア会議」は現状維持、「分科会」は「全国都市緑化あいちフェア」の「10のアクション」と絡めた機能を付随させることで意見が一致しました。ワークショップでは、「全国都市緑化あいちフェア」に向けた取組として、「既存の持ち寄り型」から「いっしょに創造型」の企画へ移行することを目的とし、会員ネットワークを活かした企画についてアイデアを出し合いました。



公園マネジメント会議の評価における「評価指標」、「目標値」の設定について

(報告)

- ・評価委員会の業務内容、スケジュールについて事務局より説明されました。
- ・平成25年度の「評価指標」及び「目標値」の内容について承認されました。

次年度以降の「コア会議」、「分科会」のあり方について

(討議内容 その1)

- ・公園マネジメント会議を従来以上に活性化させるため、すべての会員の関心や得意分野を発揮できる体系づくりを目的とし、次年度以降の「コア会議」、「分科会」のあり方について、以下の改善策などを想定しながら話し合いました。

想定
改善策

- 1) 「環境」や「交流」などの分野別に「複数のコア会議」を設定する。
- 2) 「コア会議」は従来どおりとする一方、各「分科会」を充実し、すべての会員がいずれかの「分科会」に属して活動する。



- ・討議の結果、「コア会議」は従来どおりとし、「分科会」は当面の間、「全国都市緑化フェア」と絡めながら充実させていく方向性が提案されました。

(主な意見)

- ・「自然の保全と活用を考える分科会」が「全国都市緑化フェア」を契機に取り組んでいけるといい。
- ・「コア会議」を分けることは、「執行部」を2つも3つも作ることになるので、組織上おかしいと思う。
- ・「10のアクション」を、「環境系」と「交流系」などに仕分けして、主専門、副専門みたいなイメージで必ずどこかに所属してもらうのはどうか。

(討議内容 その2)

- ・「全国都市緑化フェア」に全会員が何らかの形で関われるよう、「10のアクション」への参加意向調査を評価アンケートと併せて実施することになりました。
- ・参加意向調査の内容については事務局でもう少し検討し、フレームができた段階で会員に問いかけます。

(主な意見)

- ・参加意向調査は「X：市民EXPO」、「Y：生物多様性緑化」、「Z：ボランティア・おもてなし」等の分類から選ぶ選択肢の他、自由記入欄を設けて関わり方等について記載できるようにすると良い。
- ・各自が提供できること、他団体と協力してやりたいことについて記述できる欄を設けることで、実活動に沿ったカテゴリーができるのではないかと。また、それらを書面で見ることができれば、お互いが知り合うきっかけとなり、情報共有が図れる。
- ・「10のアクション」は次の段階である程度絞り込み、実際に総意でやっていくことを決められるといい。

「全国都市緑化あいちフェア」へ向けた取組の展開を考えよう！ ～「いっしょに創る」を意識して～

「全国都市緑化あいちフェア」に向けて、「緑化」及び「集客」の視点から、「持ち寄り企画（単独団体で実施するプログラム）」と「いっしょに創る企画（会員ネットワークを活かした協働プログラム）」について4グループに分かれてアイデアを出し合いました。

【Aグループ】

- ・ボランティアは「全国都市緑化フェア」のみではなく、その後も公園に関わってもらえるよう募集時期を早め、時間をかけて育成していきたい。
- ・「ボランティアをやりたい」、「ボランティアでいいから手伝わせてほしい」とたくさんの方に言われるようなイベントにしていきたい。



Aグループ

【Bグループ】

- ・「リニモ沿線緑化」の実現には、長久手市の協力も必要であるため、長期的な視点から「ノリノリ会議」が長久手市にも発展していくといい。
- ・会員や市民を対象としたプランターの持ち寄りによる緑化も考えられる。持ち寄った花で、観覧車の下にモザイク画を作り、観覧車の上から眺めてもらう。



Bグループ

【Cグループ】

- ・「持ち寄り企画」は足し算にしかないが「いっしょに創る企画」は掛け算になりマネジメント会議の持っている力が何倍にもなる。これが実現できたら素晴らしい。
- ・昆虫や鳥などの生態系に配慮した「緑化」を発信していきたい。



Cグループ

【Dグループ】

- ・新規会員が入るこのタイミングでもう一度、「全国都市緑化フェア」に向けてのスケジュールと、各団体の特技などの情報を共有するべきではないか。その上で、自分たちの持ち味を活かして、何に関われるのかを考える必要がある。マネジメント会議本体の基礎を作り上げ、そこから一致団結してやるべきである。
- ・閉館時期の温水プールを活用し、アマゾン博物館あるいは期間限定アマゾンプールとする。



Dグループ

【三矢コーディネーターのまとめ】

- ①「緑化」、「集客」と事務局側で設定した枠組み以外にも、関心のある分野があったり、枠から漏れている方がいたため、会員の多様性をより実感できる関わりやすい枠組みづくりを検討したい。
- ②「全国都市緑化フェア」という枠組みに捉われず、より発展的なことをやろうということが、改めて確認できた。一つは閉館時期のプールを活用したアマゾンプール（アマゾン博物館兼プール）。実現可能かも含めて、県に提案を投げかけたい。もう一つは長久手市との協働体制を整えるための「ノリノリ会議」の開催。「全国都市緑化フェア」後も見据えた「リニモ沿線緑化」を長久手市と議論する必要がある。
- ③公園マネジメント会議は「人育て」を大きな軸として、今後も着実に活動していくということが確認できた。皆さんの提案をうまく反映できるように、今後検討を進めていく。

連絡・PR事項

- ・事務局から、「会員アンケート」の実施について協力をお願い、「新規会員募集」についての案内、4月からの事務局体制について報告がありました。
- ・「愛・地球博記念イベント企画・運営分科会」から、「モリコロパーク春まつり」の報告がありました。
- ・「森の音楽会」（分科会）から、「恋するフォーチュンクッキー」のモリコロパーク版制作の案内がありました。
- ・「樹木でよみがえれ被災地の緑分科会」から、講演会「子供たちとつくる命を育む森の防潮堤～東北への想いつまでも～」の開催について案内がありました。

お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課(協働グループ) 担当：山口 052-460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL: 052-954-6491 FAX: 052-953-5329
公益財団法人愛知都市整備協会 愛・地球博記念公園管理事務所 担当：落合 0561-480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL: 0561-64-1130 FAX: 0561-61-2150

